

一般質問

市民の声を市政に

※ 各議員のQRコードをスマートフォン等で読み取ることで、一般質問の録画映像をご覧いただくことができます。

※ 荒木洋美議長は職責上（議事整理権）、監査委員の水沼日出夫議員は申し合わせにより一般質問は行っていません。

（文責は、各質問者）

一般質問に26人が登壇

交通施策の 充実について



中村 貴彰
議員

第四次春バス運行計画(案)が発表されたことにより、内牧・豊春地域では、「なんでもコースがなくなってしまうの」との声がたくさん上がっています。一人でも多くの市民の皆さまからの意見、課題、問題点、情報などをいただきたいと思っています。今回の第四次春バス運行計画(案)に対するパブリックコメントで提出された市民の意見を、春日部市として、しっかりと受け止めていただき、地域の実情に合わせた対策を公共交通福祉、そして春日部市が一つになって検討していくことが重要であると思っています。春バスを巡る交通弱者救済の支援策となりますが、公共交通のみに頼るのは、もはや限界を感じています。

そこで、特に高齢者世代からの意見を多くいただいていることから、福祉との連携も必要ではないかと考えますが、

福祉部長の意見を伺います。

福祉部長

春バスの運行ルートの変更後、福祉的な観点から別の交通機関に助成をしていく場合、対象者となる方の利用条件の制限が必要になるものと思われまます。現状においては、別の交通機関への助成制度の実施は難しいと考えていますが、他市の例を参考に、今後のさらなる高齢社会を見据え、関係部署と連携を図り、引き続き研究していきます。

このほか

- 防災対策について
- 学校プールについて

庄和北部地域や 下柳地域も 豪雨災害から守れ



大野とし子
議員

豪雨によって庄和地域は必ず冠水が起こり、そのたびに市に対策を求めてきました。繰り返し取り上げること職員員の危機意識を醸成できると考えています。

庄和北部地域は、18号水路の流れが悪く、冠水するため、庄内領悪水路へポンプによる

吸い上げを行っています。

県への要請を早期に行うことと18号水路を外郭放水路第2立坑まで改修し、立坑へ流入しやすくすることが重要と考えますが、市の認識を伺います。

下柳地域は、イオンモールやビバホーム周辺が、豪雨のたびに冠水し、今回もひどい状況でした。川端排水機場の強化が必要と考えますが、市の認識を伺います。

環境経済部長

ポンプによる排水については、土地改良区、庁内関係課と協議し、状況に応じた迅速な対応を図っていきます。

建設部長

18号水路は、庄和北部地域の治水対策において重要と考えています。毎年少しずつでも護岸改修を実施していきたいと考えています。

川端排水機場の強化については、排水先の中川が未改修のため、難しい状況ですが、国や県に中川の早期改修を要望していきます。

このほか

- 庄和高齢者憩いの家を庄和保健センター跡地に
- 地元農産物を生かし、庄和地域も自校給食に

戦略的広報について



小久保博史
議員

戦略的広報とは、各年齢層への的確な広報というような明確な目標を持ち、情報収集と現状認識を把握した上で計画を考え、その計画から見えてきた、さまざまな対処法を選択し、的確に発信を行うことだと考えています。

今まで本市では、さまざまな取り組みや事業が進められています。それがどんな取り組みで、市民がどのように関わることができるのか、市民の皆さんへタイムリーに分かりやすく伝えることは、とても重要だと思えます。それと同時に、人口減少の時代にあつては、人や事業者から選ばれるまちとなるために、市民だけではなく、市外の方にまちの魅力を知っていただくことも必要です。

そこで、広報紙やさまざまな媒体を活用した広報戦略の今後について、市長の考えを伺います。

○市長

まずは、多くの方に本市の魅力を届けるために、広報紙や各種SNSなどをソーシャルメディアとして捉え、積極的に活用していきたいと考え、実践しています。

また、本市も協力して、春日部市観光協会が、「るるぶ特別編集春日部」を発行しましたが、このような媒体もフルに活用し、春日部の魅力を強く印象づけ、次もまた訪れたいと思っただけのよう取り組んでいきます。

このほか



るるぶ春日部（春日部市観光協会作成）

○防犯のまち春日部について

Park・PFI制度の活用について



鬼丸 裕史
議員

近年ではPark・PFI制度を活用して全国で100を超える公園が整備され、埼玉県内でもマスコミに報道されているところがあります。

そこで以下伺います。

① Park・PFI制度の概要について②春日部市での活用予定について

○建設部長

①この制度は、都市公園に民間の優良な投資を誘導し、公園管理者の財政負担を軽減しつつ、都市公園のにぎわいの創出や子育て、教育環境の充実など、公園利用者の利便の向上につながる新たな整備および管理手法です。

事業者には都市公園法の特例措置がインセンティブとして適用され、その特例として、公園施設の設置管理許可期間を上限20年の範囲内で受けることが可能となることや、建ぺい率の緩和などがあります。また、公園管理者は民間資

金を活用することで、公園施設の整備や管理にかかる財政負担の軽減が図られます。

②今年度（新）中央町第1公園において基本計画の改定を実施します。この基本計画の改定では、Park・PFI制度を含めた民間活力導入の可能性についても検討を行ってまいります。民間事業者の意向調査などを踏まえ、市民に親しまれ、魅力ある民間収益施設の導入ができるよう積極的に取り組んでいきます。

このほか

○公共施設への太陽光発電設備の設置について

本市の学力向上への取り組みについて



伊藤 一洋
議員

埼玉県戸田市では、プログラミング教育を積極的に推進しており、市内小・中学校の管理職や教員を委員とする「プログラミング、ICT教育推進委員会」を設置し、小中一貫のカリキュラムを作成しています。また、専門性の高い民間企業と積極的に連

携し、最先端のプログラミング教育を活用した授業研究を行っているようですが、本市として特に力を入れたい教育活動を伺います。

○学務指導担当部長

本市として、特に力を入れたい教育活動については、以下3点です。

1点目は、主体的、対話的で深い学びの視点に立った授業改善です。これまでの教育実践とICT機器の活用をベ

ストミックスさせ、個別最適な学びを充実させていきます。2点目は、英語のスコア型テストを中心とした英語教育の充実です。スコア型テストの活用で生徒のコミュニケーション能力やグローバル化の進展に対応する力を身につけさせるとともに、英語科教員の授業力向上を目指します。

3点目は、特別活動の充実です。児童生徒が集団活動を通して人との関わり合いを深め、社会生活や人間関係の形成について学び、自己実現を図り、自己肯定感を高められるような取り組みを、学校の実態に即して進めていきます。

このほか
○小樽市との連携協定について

迷惑な路上喫煙者を減らすための対策について



酒谷 和秀
議員

路上喫煙者に関して、市民からどのような苦情・要望が寄せられているのか伺います。

また現在、春日部市の条例では、市職員が路上喫煙者を発見しても市職員の指導に従い、その場で煙草の火を消せば、過料2千円を支払う必要はありません。実際に春日部市は、これまで一度も誰からも過料2千円を徴収した実績はありません。これでは、まったく抑止力にならないと考えます。そこで、路上喫煙者を減らすため、他自治体のように、違反をすれば、その場ですぐに過料を徴収できるようにすべきではないか、春日部市の考えを伺います。

○環境経済部長

市長への提言として寄せられたものや電子メールなどによる意見の主な内容として、禁止区域内での路上喫煙や指定喫煙所のエリア外での喫煙行為への苦情、これらに対す

る指導の強化を要望するもの、受動喫煙に関する苦情となっております。

直罰方式を本市に導入する場合、指導や過料の徴収に従事する人員の確保、市内に一時的に滞在する方に禁止区域などを周知する方法などの課題もあります。また、現行の対策により、路上喫煙の防止に一定の効果が見られていることから、引き続き職員による巡回指導、広報活動に取り組みとともに、過料徴収の在り方については、さまざまな事例を研究し、見極めていきたいと考えているところです。

イベントに対する市の関わりについて



榛野 博
議員

コロナウイルス感染症の5類への移行を受けて、各地でイベントなどが緩和され、地域に活気が出てきたように感じます。市民の皆さんが思い思いの活動を活発にされることは地域活性化に影響し、喜ばしいことであると考えます。今回は「春日部夏まつり」

について、どのような団体が主催し、本市がどのように関わっているのか伺います。

また、会場内で喫煙者を見かけましたが、喫煙場所は1カ所しか用意していませんでした。路上喫煙について、どのような予防対策や喫煙者の対応を講じたのか、併せてごみ問題についても伺います。

○環境経済部長

主催は、粕壁地区自治会連合会、春日部商工会議所および一般社団法人春日部市観光協会の三者により構成される春日部夏まつり実行委員会が主催となって開催しています。その実行委員会に協力という立場で市が関わっています。路上喫煙対策は、路上での喫煙をしないよう、会場内の放送で繰り返しアナウンスを行い、警察やスタッフが会場内を巡回しました。また、実行委員会の会議においても、みこし責任者に担ぎ手への周知徹底もお願いしています。

ごみの対応については、会場美化のため、来場者や出店者には、ごみの持ち帰りをお願いしているところです。

このほか

○公平な公民館（公共施設）等の利用について

新本庁舎のクラウドファンディングについて



河井 美久
議員

新本庁舎建設工事については、工事が着実に進み、建物の外観が姿を現し、日に日に変化する工事現場の様子を見て、私をはじめ多くの市民が竣工を楽しみにしているところです。

今回のクラウドファンディングについては、幅広い世代の皆さまが利用できる「まちの commons ペース」を設置し、たくさんの方が集い、交流し、にぎわいのある庁舎を建設するという重要プロジェクトについて、寄付金の使い道を新本庁舎建設工事にすることを明確化し、それに共感された方から寄付を集めるといっても、素晴らしい取り組みと大変評価しています。目標金額3000万円を大幅に上回る寄付が集まったとのことですが、これだけの寄付が集まった要因について伺います。

○公共施設事業調整担当部長
要因の1点目は、子どもか



新本庁舎建設工事クラウドファンディング（8月29日で終了しました）

ら大人までが集う、にぎわいのある市役所に生まれ変わるというコンセプトに対して、多くの方々が共感され、新本庁舎建設工事に参加し、応援したいと思っていただけました。2点目は、さまざまな媒体を通じて、より多くの方々に、クラウドファンディングを知っていただくことです。また、複数の新聞に取り上げられ、記事をご覧になった方から、たくさんのお問い合わせがあるなど、これらの周知により、多くの寄付をいただき、目標金額を達成できたものと捉えています。